

令和2年度

事業計画



社会福祉法人

あじさいの家

目次

1、あじさいの家 基本理念	1
1)目的	1
2)運営方針	1
3)重点項目	1
2、日課	1
3、運営組織図及び担当	2
4、年間行事計画	3.4
5、利用者及び職員概況一覧	5.6
6、業務内容及び活動内容	7
◎運営	7
〈総務部〉	7
◎広報	7
◎施設管理	7
◎防災管理	7
◎車両管理	7
〈支援部〉	7
◎行事	7
◎交流	8
◎実習	8
◎安全・防災	8
◎医務・健康	8
◎研修	8
【生活介護】	8
◎活動	8
○創	8
○楽	8
○動	9
○人形劇	9
【日中一時支援】	9
【短期入所】	9
〈事務部〉	9
◎経理・事務	9

1、あじさいの家 基本理念

1)目的

障がいの程度にかかわらず、一人ひとりが日々充実して過ごし、生活の幅を広げながら、安心して地域生活を送ることができるよう支援することを目的とする。

2)運営方針

- ・ 日常生活において、生きがいを持って豊かに暮らすことができるように支援する。
- ・ 安全で健康的な生活を送ることができるよう支援する。
- ・ 一人ひとりの個性が発揮できるよう支援する。

3)重点項目

- ・ 一人ひとりの個性を尊重し、自己表現できる場や機会を設定する。
- ・ 一人ひとりの障がいの特性を的確に把握し、体調の変化には絶えず留意する。
- ・ 地域とのかかわりを大切にし、社会資源を有効に使ったり、地域に積極的に出かけに行くなど、いろいろな体験をすることで生活の幅を広げる。
- ・ 居宅生活が安心して送れるよう支援する。

2、日課

8:30	職員打ち合わせ	14:00	午後の活動
8:40	送迎及び準備	15:15	片付け、帰宅準備
9:30	活動準備	15:45	帰りの会
10:00	朝の会	16:00	帰宅(送迎)
10:30	午前の活動	16:00	記録(清掃)
11:40	昼食準備	16:30	会議(活動準備)
12:00	昼食、休憩	17:30	帰宅

4、年間行事予定

	法人関係	施設運営関係	行事	交流
4月	辞令交付(1)	職員会議(16.19.21) 安全点検(23)		マスの放流(3)中止
5月	法人監査	安全点検(14) 職員会議(19) ケース会議 あじさいの家まつり(中止)		
6月	法人理事会 評議員会	安全点検(4) 職員会議 ケース会議	誕生会(中旬)	
7月		安全点検(9) 職員会議 ケース会議	誕生会(初旬) 七夕会	
8月		安全点検(6) 職員会議 ケース会議	誕生会(下旬)	ジュニアアンサンブル
9月		安全点検(3) 職員会議 ケース会議		
10月	法人理事会	安全点検(8) 職員会議 ケース会議 避難訓練(14)	誕生会(下旬)	
11月	評議員会	安全点検(5) 職員会議 ケース会議	あじさいの家餅つき	いなべ市障がい者 スポーツ交流会
12月		安全点検(3) 職員会議 ケース会議	誕生会(初旬) クリスマス会 お楽しみ会(下旬)	ヘルマンハーブ演奏会(5) いなべ市人権フェスティバル
1月		安全点検(14) 職員会議 ケース会議	誕生会(下旬) 初詣	
2月		安全点検(4) 職員会議 ケース会議	誕生会(下旬) 節分	地域交流会
3月	法人理事会 評議員会	安全点検(4) 職員会議 ケース会議 避難訓練(9)		

	実習	医務・健康	研修	人形劇
4月		体重測定(13)		
5月	いなべ中学校勤労体験 (秋に延期) ユマニテク実習 (1月以降に延期)	体重測定(11)		
6月	ユマニテク実習 (1月以降に延期)	体重測定(8)	施設内研修	
7月	いなべ市職員新人研修	体重測定(6) 平山医師健康診断	きらら学園研修会	
8月		体重測定(3)	多田T訓練会 静的弛緩誘導法研修	
9月		体重測定(7)	古川PT研修会(25)	
10月	ユマニテク実習(9～23) 北勢中学校勤労体験	体重測定(5) 健康診断		
11月		体重測定(9) インフルエンザ予防注射	施設内研修	メシエレ(1) 三里保育園(11)
12月		体重測定(7)	古川PT研修会(21)	
1月		体重測定(12)		
2月		体重測定(4)		
3月		体重測定(4)		

5、利用者及び職員概況一覧

1、利用者の状況

2020年5月1日現在

(1)通所状況

利用者定員 20名

利用者実数 19名

(2)入退所状況

令和2年度 新規利用者 男性 0名 女性 0名

(3)曜日別利用者数

曜日	月	火	水	木	金	1日平均	昨年度
男	11	11	11	13	13	11.8	11.4
女	3	2	2	4	2	2.6	2.6
計	14	13	13	17	15	14.4	14

(4)通所市町

市町	いなべ市	東員町	桑名市	四日市市	菰野町	計
男	8	3	3	0	1	15
女	2	0	0	2	0	4
計	10	3	3	2	1	19

(5)年齢別在所者数

年齢	18～19	20～29	30～39	40～49	50～	計	平均年齢
男	0	6	5	2	2	15	36.7歳
女	0	0	3	1	0	4	38.8歳
計	0	6	8	3	2	19	36.3歳

(6)施設在所者数

平均在席年数 11.5年

在籍年数	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10年以上	計
男	0	0	0	2	6	7	15
女	0	0	0	1	1	2	4
計	0	0	0	3	7	9	19

(7)障害手帳保有状況

	1種		2種	計
	1級	2級		
男	12	3	0	15
女	4	0	0	4
計	16	3	0	19

(8)障害程度(療育手帳判定による)

	A 最重度	A 重度	A1	A2	計
男	6	4	1	2	13
女	1	2	0	0	3
計	7	6	1	2	16

(9) 障害支援区分

	区分1~4	区分 5	区分 6
男	0	0	15
女	0	0	4
計	0	0	19

(10) 日常生活状況

- ・ 移動 ※ 自力歩行、自助具を使用される方は、車椅子も併用している。

	自力歩行	車椅子使用	補助具移動	半介助	全介助
男	1	15	1	2	13
女	0	4	0	0	4
計	1	19	1	2	17

- ・ 排泄

	自立	見守り	全介助
男	0	2	13
女	0	0	4
計	0	2	17

- ・ 食事

	自立	見守り	半介助	全介助
男	0	2	1	12
女	0	0	3	1
計	0	2	4	13

- ・ 食事形態 ※ 口からの摂取と経管栄養の併用有り

	普通食(一口)	刻み	ペースト(重複)	経管(胃瘻)	経管(鼻腔)
男	3	0	12(5)	4	1
女	3	0	1(1)	1	0
計	6	0	13(6)	5	1

- ・ 医療的ケア状況

	口腔内吸引	気・切吸引	胃瘻	鼻腔	導尿	導尿留置
男	6	0	4	1	2	2
女	1	0	1	0	1	0
計	7	0	5	1	3	2

2、職員の状況

(1) 就退職状況

令和2年度新規採用者 男性 0名 女性 1名(パート)
平成31年度末退職者 男性 0名 女性 0名

(2) 職員状況

職名	正規職員		パート職員		業務委託職員		計
	男	女	男	女	男	女	
施設長	1						1
サビ・管		1					1
支援員	1	5	2	7			15
看護師		1		1			2
事務員				2			2
調理員				2			2
運転士			1		1		2
計	2	7	3	12	1	0	25

※ 現場職員 常勤換算人数 12.2人

6、業務内容及び活動内容

◎運営

支援におけるすべての活動が円滑で、正確に機能するように提案、管理、調整に努める。

なかまの生活全般については、体調や環境の変化等の現状を把握し、定期的に話し合いの時間をもち、緊急時には迅速に対応できるよう、職員間の協力体制を整えておく。

〈総務部〉

◎広報

定期的に広報「あじさい」を発行し、あじさいの家の取り組みやなかまの様子、行事などの案内を地域の方々や様々な団体に知らせていく。また、屋外掲示板や室内掲示板を更新していく。家庭向けにかわら版(不定期)も発行し、連絡や様子を伝えていく。今年度はHPも活用していきたい。

◎施設管理

施設建屋、施設敷地内のすべての備品等を総括して管理する。安全・防災と連携し施設内の安全点検をもとに、破損箇所等があれば計画的に修理を行うことも含め管理を行う。事態によって大規模修繕が必要な場合は、いなべ市とも協議を行い改善していく。

昨年度、旧あじさいの家の建屋及び敷地内の整理を行っていただいたので、現状を維持できるよう努める。

◎防災管理

施設内の防災システムを総括して管理する。年2回の設備点検は、スプリンクラーの点検も重ねて有限会社アシストに依頼して行う。

また、引き続き様々な災害に対応できるように、保護者や地域との連携を図りながら、独自の備品の整備をより充実させると共に、避難訓練の充実と、災害備品のリストの策定などに取り組んでいきたい。

◎車両管理

施設保有の車両を管理し、運行の安全を確保する。車検の時期も早期に把握し、送迎業務の影響が最小限になるよう管理する。また運行表もチェックしながら燃料補給の状況や、消耗品の交換等の時期を明確にすると共に、乗務した職員一人ひとりが車両の取り扱いに注意し、不具合を感じたら速やかに修理等の対処を行う。

〈支援部〉

◎行事

今年度もなかま一人ひとりが主役になれる誕生会をはじめ、四季の移り変わりや文化を感じられる活動となるよう体調に留意しつつ、なかまと共に楽しく工夫し行っていきたい。

◎交流

地域の関わりを大切に、なかまの社会参加の場のひとつとして積極的に取り組んでいく。また、あじさいの家とのつながりを深める為に、交流の受け入れや新しい体験、出会いの場が広がるような情報を集め、なかまの体調に留意しながら取り組んでいきたい。

◎実習

今年度も積極的に受け入れていく。年齢、目的に応じて実習や体験を行い、実習生、体験者、なかま、職員それぞれが、意義のある時間となるよう配慮する。

◎安全・防災

毎月の安全点検と年二回の避難訓練を実施し、危険場所・不具合箇所の見直しと消火設備の点検や避難経路の確認を行う。緊急時において、自力避難が困難ななかまが、安全に避難できるよう、様々な場面を想定し職員の意識づけとなるような訓練を行いたい。

◎医務・健康

なかま一人ひとりが、心身ともに安全で楽しく活動が送れるよう健康管理を行う。家族、職員間の情報交換を行い、体調不良などの早期発見に努める。

例年の嘱託医による健診、インフルエンザの予防接種、なかまの健康状態の把握のための健康診断と体重測定は実施していく。

◎研修

各職員がなかま一人ひとりの障がいや特徴に対し知識を深め、共通理解をし、なかまが健康で安全に過ごせるよう、研修会などの機会を持ち、スキルアップを図る。

また、施設外の研修会にも積極的に参加していくと共に、それを職員全体にフィードバックできるような研修体制も検討していく。

【生活介護】

◎活動

今年度も引き続き活動の内容を「創」「楽」「動」の3つに分け、それぞれが目的を持ち、なかま主体の充実した活動となるよう自由な発想で取り組んで行く。

また、人形劇は単独の活動とするが、各活動は互いに連携しながら多種多様な活動が出来るよう工夫していきたい。

○創

素材や内容を工夫し『創る』過程を楽しみ、なかまと共に達成感や充実感を得られるような活動にしたい。

○楽

楽しむことを目的とし、幅広く活動を取り入れ、なかま・職員共に自由な発想でリフレッシュを兼ね、楽しい時間としていきたい。

○動

週一回の訓練と身体を実施していく。身体を動かす活動を中心とし、なかまが心身共に健康に活動できるよう取り組んでいきたい。

○人形劇

交流や対外的な行事に関わる大切な活動なので、なかま一人ひとりが主役になれる場となるよう、体調や状況に留意しながら引き続き意欲的に取り組み、社会参加につなげていく。

また、以前から研修で行っている飯田人形劇フェスタ参加に向けて準備を進め、人形劇団としての活動を意識し、目標にしていく。

【日中一時支援】

基本日中活動後週2回(月、水)入浴サービスを中心に行う。また緊急時には時間の延長や休日でも迅速な対応がとれるように、体制を整え安心して利用出来るように行う。

【短期入所】

定員2名、24時間、365日利用できることを基本とし、緊急時の場合は迅速に対応していく。また、家族の都合などでも利用を可能とし、負担の軽減を目指していく。保護者との連携を図り、安心して利用できるように取り組んでいく。

〈事務部〉

◎経理・事務

各帳簿整理と小口現金等の出納を管理し、施設会計及び法人本部会計等、すべての会計管理業務を行う。チェックは他の職員も関わり透明化を図る。今年度も引き続き菊山会計事務所と連携し、明瞭で確実な業務に努める。

また、備品や消耗品等については、在庫量にも配慮し、日常の施設運営や活動に支障のないよう努める。

令和 2 年度



あじさいの家